

1. 件 名：三菱原子燃料（株）による核燃料輸送物設計変更承認申請（MFC-1型）に係るヒアリング（3）

2. 日 時：令和5年6月13日（火）10時00分～10時40分

3. 場 所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者：（※はTV会議システムによる出席）

原子力規制庁 原子力規制部 核燃料施設審査部門

松本企画調査官、日坂管理官補佐、甫出安全審査官、山後安全審査官

三菱原子燃料（株）

輸送・サービス部主幹 他2名※

三菱重工業（株）

機器設計部主席技師※

5. 自動文字起こし結果：別紙のとおり

音声認識ソフトによる自動文字起こしによるものであり、誤りを含む場合があります。

一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

6. その他：

【三菱原子燃料（株）からの配付資料】

資料1 MFC-1型核燃料輸送物 5/25ヒアのご質問に対する説明

以上

時間	自動文字起こし結果
00:00:01	それではですね三菱原子燃料株式会社との面談を開始いたします。注意点をお伝えします。不開示情報は発言しないように注意をしてください。発話してしまった場合にはその場でその旨を指摘してください。
00:00:17	発言の際には所属と氏名を述べてください。
00:00:22	使用しないときのマイクのスイッチはオフにしておいてください。よろしく申し上げます。
00:00:27	規制庁の35ですけれども、面談用に資料をいただいております、中身をこちらで確認しておりますので、
00:00:37	まず資料の質疑の方から進めたいと思いますけれどもよろしいでしょうか。
00:00:46	はい、結構です。よろしくお願いいたします
00:00:50	はい。
00:00:51	それでは、
00:00:52	阿井さん。
00:00:53	はい。規制庁。
00:00:55	あれですけども、
00:00:57	多くのメリットとかですね、そういうところは、どっか
00:01:05	文字、語句の統一とかですねそういうところは、比較的、もう大丈夫じゃないかなというふうには、
00:01:15	認識しています。
00:01:18	従いまして今一度、最終的に今後補正を出される等あれば、もう一度確認していただいて、間違いがないかと。
00:01:29	いうふうなことを確認していただければと思います。
00:01:33	で、
00:01:35	火、
00:01:37	中ですね、今回
00:01:41	説明の方針としてですね
00:01:46	やはり
00:01:48	と、
00:01:49	ゴムですね
00:01:51	いわゆる謀臣ゴムのところなんですけれども、ここで幾つか確認させていただきたいと思います。
00:02:02	まず1点ですけども、このゴム、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

00:02:08	ですね職安等に使われてるゴムは、あれ、
00:02:13	要は、
00:02:14	要は今の設計で考えている温度範囲では、
00:02:21	その範囲では、使用下の温度範囲の中に十分入ってるということで、いう認識でよろしいですか。
00:02:32	MF 松岡でございますその国井式で結構です。わかりましたす。
00:02:40	ということは、その範囲であるっていうことは、ものは基本的には変わらないと、いうふうなことだと思いますので、
00:02:51	まず、主、
00:02:54	まず最初の話としてその範囲で使われるものですよっていうことが、まず、重要じゃないかなと思います。
00:03:04	一方でいろいろ何か今の方針、説明の方針を見る限りでは、
00:03:14	あれこれ、緩和することの難くなるのことの、いろんなことが熱及び価格ですね。
00:03:23	放射線についてはもう、照射のレベルっていうのは本当にゴミだと、いうことで、そこでまず、どう、
00:03:33	問題ないだろうということは十分に認識できるんですけども、
00:03:39	要は、加来の方も何か気中に置いていた時にいろいろな
00:03:47	ものと長いこと、何か触れてると結局、
00:03:50	なにがし起こるんじゃないかということで、
00:03:56	というところは、何か起こるんじゃないかということは、これも既存知見ということでよろしいんですかね。
00:04:08	そうですね。基本的には一般的にゴムで、世間一般的に知られている知見ということで書かせていただきました。申し遅れました松岡でございます。
00:04:19	となると、実際そういう知見があるということで、熱の方は影響はないだろうと。基本的にはこんなことあるけど影響ないだろうということ
00:04:32	いわゆるその環境に置いたときの条件として、こんなことを、何か懸念されることがあるなあというところを踏まえて、
00:04:43	要は、
00:04:46	捨てる前の交換期限ぎりぎりのやつ等について、ショックマウントに対して試験をやったと。
00:04:55	そういうことでよろしいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

00:05:00	はい、おっしゃる通りです。ゴムについてはですね、硬化していくということが一般的に知られておりますので、その影響というのをですね、実際には試験的に辿りをして確認したと。
00:05:14	ということでございます。
00:05:16	わかりました。
00:05:18	これですけども、ということはどういうことかっていうと、要は、殊、いわゆる交換頻度として最初に、申請書の中で、
00:05:30	宣言をされてる範囲の中で、最長の
00:05:34	最長期間がたっているやつに対して、試験を行ってみたら、やはりそういう傾向が出ました。
00:05:45	ということだと思んですけども、となると、その影響っていうのは、こんなことあるかなあんなことあるかなということで、
00:05:55	広義に言えばですね、熱も、要は放射線も、
00:05:59	買う、いわゆるその環境に置いたときの、そういうゴムの変化というところを全部含めた上でね、その影響が全部出ると、いうこと。
00:06:12	となると思んですけども、その辺のお考えはいかがですか。
00:06:18	上松岡で行います基本的にはそういうふう、おっしゃったり、おっしゃっていただいたようなですね、実際 13 点を超える連結、経過したですね、今回、
00:06:32	ゴムについて、異常がないかとかですね、それからまでは熱中ですかね効果の影響というのを調べてございますので、一連のこの
00:06:43	実質的な環境の影響っていうものを全部含めた値を、ものというふうな認識でございます。なんですね。はい、わかりました。
00:06:57	と、
00:06:58	ですから、そういう時の試験を実際やってみたら、何がしそのばね定数という、
00:07:08	どうですかね物理量を比較してみたら、何%か上がってたと。
00:07:15	ということで、それを踏まえて、実際に解析で、その安全解析の中でですね、
00:07:25	そういう定数を使っているところはどこやというところで、踏まえて考えてみたら落下だ、落下解析で使ってたというところで、
00:07:36	落下解析をその影響を踏まえて、一応やってみたと、影響に、
00:07:43	したと。
00:07:46	ということでよろしいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

00:07:49	MNF 松岡でございますそのご認識で問題はございません。その通りで ございます。わかりました。
00:07:57	で、その結果やってみたが、
00:08:00	数値はばらばらしてるかもわからないけれども、
00:08:04	いわゆる落下のときの指標というものは、
00:08:10	要は加速度及び変形量だというところで、
00:08:14	特に燃料を保持、固縛している謀臣構造部については、ほとんど影響が なかったというところもあるし、
00:08:27	いわゆる一般の試験条件のですね、
00:08:35	1.2 メーターなんかかな、1.2 メーター落下時も、この時にそういうこと を考えると、要は、
00:08:45	物が、物が移動する量とかですね、変形量には全然影響がなかったと。
00:08:53	いうふうに認識したんですけどその認識で正しいですか。
00:08:57	MF 松葉でございますそのご認識で。はい、わかりました。ございませ ん。はい。
00:09:05	で、どういうこと。
00:09:08	であればですね基本的に
00:09:13	一応評価をやってみたら、
00:09:16	そんな要は安全、
00:09:19	安全解析の技術基準に対する適合性評価を行う上で、影響は出ていな い、影響、考慮するし、でもない。
00:09:32	数値としてはある程度のよばね定数は、ある程度変化してるかもわか ないけれども、その安全性という観点から見ると、影響はなかったんで、 特に考慮する必要はないですねと。
00:09:46	いうことになろうかと思うんですけども。
00:09:50	そういうことでよろしい、そういう認識でよろしいですか。
00:09:55	はい、結構でございます。梅田、松岡ですけれどもその認識で結構で す。わかりました。
00:10:02	ちなみに、交換するっていうのはわかるんですけども、
00:10:09	どう、
00:10:11	発送前検査とかですね、技術検査で、この
00:10:16	どこ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

00:10:17	いわゆるこのショックマウントに対して何を確認されているんでしょうか。
00:10:26	えっと、当然のことながら、結城の内部っていうのはですね、外観観察してございますので、当然その中の一環としてですね証拠パッドとか、そういうところにも異常がないかと。
00:10:38	いうふうなことは、確認してございます。はい。
00:10:44	で、
00:10:46	例えばそういうところで、異常が見つかった場合には、措置としてはね、どのように考えられていますか。
00:10:59	これまでレベルは松岡でございます。実質的にそういう代表っていうのが見つかったことはないですけども、当然そういう異常が見つかった場合はこうかと。
00:11:10	いうことになろうかというふうに考えてます。わかりました。
00:11:16	であればね、今ずっとこう一つ一つ確認してきた、こちらから事実の確認をさせてもらったわけですけども、
00:11:27	そのことを積み上げて説明されて、影響はないとね、いうふうな組み立てになろうかと思うんですけども。
00:11:38	見てたら、こんなのあるけどどうだろうあんなのあるけどどうだろうっていうふうにまだその方針の中でね。だから本当にどうなのっていうところ。
00:11:49	要は、影響はないし、影響はないし、万が一のことがあれば、どう、どのように措置をすると。
00:11:56	いうことが、ここで言われるべきではないかと考えています。
00:12:03	そういう面で適正化ということでですね、考えていただければいいと思いますし、そう、そういう形でね、説明のロジックを構築していただきたいと思います。
00:12:17	あわせて、例えば措置の方に行くのであれば、例えばここで言うの、このろ紙をFの項で説明するだけではなくてね。
00:12:27	例えば、そういうことについても、例えば8章ですかね、庄野、外観外観のところまでどこまで詳しく書くかっていうのはあるんでしょうけども、
00:12:37	内部、
00:12:39	云々というふうなところもね、明記しておいて、要は説明に整合がとれるような形でね、まとめていくべきと考え、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

00:12:49	まとめられるべきとこちらとしては考えます。
00:12:53	したがいまして、そういう意味合いで、ゆ、今一度、
00:12:58	まあさ。
00:12:59	そちらがね、これまで実施されたことをね、踏まえてね。
00:13:05	措置としてどういうことをやるかと、いうことを踏まえてまとめていただいて、異常がないのは異常がないということであろうし、影響がないであろうということは確かにわかるんですけども、
00:13:16	その途中で曖昧なところがあると、やはり本当っていう話になってきますので、その辺は、納得できるというか、
00:13:27	納得できるということですね。
00:13:30	というシナリオでね、説明いただき、
00:13:34	思います。
00:13:36	一応、一番大きいところっていうのは前回からのこんな変わるんだっけ。実際その1個1個のある物理量を見ると、仮訳。
00:13:47	下は変わって見えるところに対して、どのように安全解析への、要はスクリーニングをかけるかというところだと思いますので、
00:13:58	その辺で誤解がないような説明をしていただきたいと思います。
00:14:05	私の方からは以上です。
00:14:09	江藤浅岡でございます。
00:14:12	今の話でいきますとですね、やっぱり点検とかしているのであれば、そういうことも含めて、
00:14:23	いうわけね。結果というものの管理の仕方っていうことを、もう少し実らせてはどうかと、いうふうなコメントというふうに理解いたしました少し
00:14:37	持ち帰ってですね、検討させていただきたいと思います。ありがとうございます。はい。
00:14:47	これに
00:14:52	以下、
00:14:55	あ、すみません、規制庁の方ですけど一つだけ確認ですけども、臨界解析のモデルで、
00:15:04	今の話で、変形量に対する感度はないというところで、
00:15:10	理解はしたんですけども、
00:15:13	これ炉小委の9ページの小代伊井の位置図に示されてるモデルというところは、仮想的に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

00:15:24	要は、中性子吸収材がない方向が、
00:15:28	容器の外表面に近づいて、おそらくこの外4でそこがまた変形をして、 どうですかね。要はここで反射面と、
00:15:40	んなると思うんで無限に無限にisされたものとして、近くのもの、近 く、要は、
00:15:50	相互の燃料の距離について、どこまでがないところが最も近づくという モデルというふうに、いうふうに理解しましたがその理解で正しいです か。
00:16:05	MNF 松岡でございますこの
00:16:08	の通りです。実質的にこれ上側というんですかね、図で言うところの、 天川がですね完全反射境界ということになりますので、となると、 ご認識通りですね。
00:16:22	毒物がない、燃料集合体が一番
00:16:26	集まるというんですかね、水を介して集まるというふうなところが一番 厳しい状況になりますので、その条件で評価していると。
00:16:35	ということでございます。
00:16:39	はい、変わりました。
00:16:51	です。
00:16:55	ここは後、ボイラーにされてるところ、真空とされているところという のは、何が強いこれ、一番外の外、
00:17:06	外鋼板だと思うんですけども、
00:17:09	そもそも緩衝材が詰まってるところを真空にした方が、厳しいという ところは、確認されてる。
00:17:20	という認識でいいですか。
00:17:24	水が入る可能性だってありますよねここ。
00:17:27	そうですね。F松岡ですけども、ここ進行にしてるのが厳しいござい ます。実際に水が入るとですね、梅雨と、あと、
00:17:38	実質的に金庫っていうのは距離が近いのと同じでございますので、です ので、水が入った方が厳しい、あと逆に言うと、ごめんなさい、水が入 っていない方が厳しくの方が厳しいと。
00:17:50	ということになりますそれは確認してございます。
00:17:55	はい、わかりました。
00:17:57	一応私の方からは以上です。先ほどの、やはりゴムのところの説明ロジ ックというところを適正化。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。



00:18:10	を図っていただける
00:18:11	いいのでは、
00:18:14	そうです。
00:18:18	明日、
00:18:32	あ、すみません、規制庁の西坂です。
00:18:35	御説明いろいろありがとうございます。今回いただいたですね、
00:18:39	前回、メイン。
00:18:42	反映の資料。
00:18:44	いわゆる日誌に相当するものですけど、
00:18:48	この中でロシア、B-4D 木材、 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> の実績性質ということで、いくつか温度ごとに密度とか比熱とか、結構細かいデータを出していただいておりますけど、
00:19:00	一方で、
00:19:04	炉のF-9のところ、ここ経年変化の考慮必要性に係る考察とか、結局は経営変化の考慮必要性なしにはなるんですけど、
00:19:15	ここで使ったのを参照してるデータと、ここに書いてある考察というのは、
00:19:21	何かまいちと整合性が、整合性といいたいでしょうか。
00:19:25	せっかく論Bの4で、
00:19:29	データ出していただいているのに、何かちょっとこの考察のところであまりうまく
00:19:33	反映されていないような気がしなくもないんですけど、ちょっとそのところをもう少し説明いただけないでしょうか。
00:19:40	ちょっとこの口のFの中で書いてところが、これまで読むので、四国電力さんです。
00:19:47	他の経年変化の木材変化の考察と、ちょっとかなり類似性があるように見受けられますので、
00:19:53	せっかく今回、
00:19:55	MNFさんの
00:19:56	出して、
00:19:59	どのように生かされてるか。
00:20:00	ちょっとお聞かせいただけると、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

00:20:19	MNF 松岡でございます。はい。基本的な木材、一般論ということでですね、書かせていただいています、
00:20:30	今回、このためにという表現がいいのかどうかかわからないですけども、新規データとかはとってはいいんですけども、基本的には材木一般、
00:20:43	■■■■■■■■■■もですねよく使われてる材料ではございますのでそういうことですね、書かしていただいています。
00:20:51	で、
00:20:53	ちょっと江藤もう1回ですね、そういう意味ではですね、ちょっとオスバスご指摘踏まえてですね、今回ちょっと確認させていただきたいと思えます。
00:21:07	はい。確認させていただきます。
00:21:11	おそらく、ちょっと他の、規制庁西坂です。他のし、過去に申請された案件で、こういった■■■■■■■■■■の熱的性質の表を出していただいたら、多分、MNFさんが最初だと。
00:21:24	思いますので、
00:21:25	ちょっとその、今回野呂のF-9の、
00:21:28	書きぶりについては、
00:21:30	うまくリンクがちょっととれるように、或いはもう、特に参照しないというのであれば、思い切って割愛するっていう手もあるかと。
00:21:38	ちょっとそこはご検討いただければ。
00:21:41	私から、明日、
00:21:44	承知いたしましたありがとうございます。
00:21:49	三菱原燃の立花でございます。
00:21:52	どうか木材の材料面開示情報ですので、よろしくお願ひ
00:22:00	承知しました
00:22:02	ので、
00:22:11	そう。
00:22:26	三菱重工1個でございます。
00:22:30	発言してもよろしいでしょうか。はい、どうぞ。
00:22:34	どうぞ。
00:22:37	と。
00:22:39	金属キャスクの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

00:22:42	全例のを申請されている、ました。
00:22:47	四国電力さんなんかで申請されてる大木材の種類、
00:22:53	にも含まれてる。
00:22:55	今回の木材材料は含まれているものでございます。
00:23:03	以上です。
00:23:21	他は。
00:23:22	何かございますか。
00:23:32	石川ないという
00:23:38	は、
00:23:39	特に、
00:23:42	はい。
00:23:49	すいません規制庁の3号ですけどもちょっと事務的なところの確認なんですけれども、
00:23:55	今日、質疑を行って確認できたところ、
00:24:01	についてと
00:24:02	荒谷井同士、
00:24:05	木材についての何かその説明ぶり2をもうちょっとっていうところについては、
00:24:11	特に回答をしてもらってそれを確認しないといけないっていうところを、
00:24:17	ではなくてもう補正にそのまま反映していただければと思うんですけれども。
00:24:23	そうした時2、
00:24:26	補正の準備状況っていうのはどれぐらいを、
00:24:30	めどになりますかね。
00:24:38	ごめんなさい、ちょっと後発言が後ところがですね、すごく一考してしまってよく聞き取れなくて、申し訳ございません。
00:24:48	規制庁の35ですけども、
00:24:51	はい。
00:24:52	今日の面談で確認できたところ、当間荒谷、後者がいいんじゃないか木材の説明ぶりをちょっと変えた、丁寧にした方がいいんじゃないかというところは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

00:25:03	改めて面談を行って確認をするまでもなく、そのまま補正に反映していただければと思います。
00:25:12	で、補正を準備するにあたって、どの程度の期間を要するかは、
00:25:19	見込み等を教えていただければと思います。
00:25:26	1週間程度で多分出せるとは思いますはい。
00:25:35	わかりました。でしょ。はい。書類の準備状況が整いましたらまたご連絡いただくということでしょうか。わかりました。はい、わかりました。
00:25:46	先ほど私さんの方から謀臣ゴムのところですね、もう少し点検等も踏まえて、ちょっとさ、その辺、
00:25:57	再考したらというふうなことで、
00:26:02	コメントいただいているんですけど、こちらの方はどうしたらよろしいですか。
00:26:06	ですね、コメントの趣旨がちょっと
00:26:12	どういうやり方がいいかっていうのが決まったやり方っていうのではないと思うんですけども、8章の、はい。
00:26:20	輸送物の取り扱いとか容器の保守について、
00:26:24	経年変化を考慮した上で、こういう取り扱いこういう保守になります。そういったところを、
00:26:30	もうちょっと丁寧に説明していただければいいのかなと。
00:26:34	現状ですと、もう部品は交換しますぐらいしか書かれていませんので、
00:26:40	どういう、
00:26:42	期間で交換するものもあるでしょうし、
00:26:45	使う前に、
00:26:48	不具合があれば、それは使わないか交換するかしますとかっていうようなところとか、
00:26:54	もうちょっと一行2行を入れてもらったらいいのかなと思います。
00:26:58	はい。はい。
00:27:02	そちらも調布
00:27:07	回答という形っていうんですかね、そういう形でまとめさせていただいた方がいいですか。
00:27:14	いやもうそのままを行政に反映して、
00:27:18	その間、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

00:27:19	何て言うんですかねその認識がずれてるとは思いませんので、
00:27:24	補正にそのまま書いていただいて出してもらおうことでもいいのかなと思ってます。
00:27:30	喜多。
00:27:31	わかりました。
00:27:33	もしどうしても何か
00:27:36	疑問に残るようなところがあるっていうふうなお考えでしたら、もう1回ヒアリングをやるっていうことも、
00:27:45	考えますけれども、
00:27:47	そこまでいらんんじゃないかなと思ってます。こちらはわかりました。承知いたしました。はい。
00:27:57	いたしました。はい。
00:27:59	規制庁様です。はい。そういうところを踏まえまして、
00:28:04	書類の準備ができましたら、大型ご一報いただければと思いますので、よろしく願いいたします。いたしました。ありがとうございます。
00:28:16	パット何かございますかね。
00:28:22	よろしいですかね。規制庁の井坂です。すいません、今回、この日やのご質問に対する説明という資料1の中で、D-
00:28:34	応力緩和と劣化が混同されるような記載は適切に見直しますとありまして、
00:28:40	で、別紙2の方のF-7、
00:28:44	具体的にはゴムの経年変化要因でそのところで、黄色い網かけて、
00:28:49	書いておられるんですけど、
00:28:52	ちょっとこれについてもう少し、
00:28:55	わかりやすくてましようか。
00:28:57	ちょっとなかなかその一般的な人たち、やっぱりその材料工学からも皆さん
00:29:03	しっかり勉強されてる人ばかりじゃないので、この応力緩和は生ずるけどひび割れ等の熱に起因する劣化は生じないというところを、ちょっともう少し丁寧に、
00:29:14	今ちょっと補足なり説明していただくこと可能でしょうか。
00:29:19	そうですね
00:29:21	へ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

00:29:24	応力緩和という表現してはありますが、要はゴム発富田奥田もさ、MNF松岡なんですけれども、担当のゴムとかでも、ご経験、おありだと思いますけれどもようは、今後は伸びるですね、長くすると。で、
00:29:41	ちょっと、必ずしもそういう意味でいうと、応力緩和という、何て言うのかな、
00:29:49	田子っていうのがですね、ちょっと必ずしも適切かっていうのは確かにおっしゃることかなというふうに思いますので、当然、
00:29:59	量的な話もわずかの話ですし、実質的にですね、ゴムっていうゴムの物性そのものがですね、落下とかそういうのに影響しないっていうことは、
00:30:12	バックにしておりますのでですね、ちょっとその辺、表現っていうんですかね、説明、
00:30:22	もう少しあとわかりやすいっていうか、ちょっと検討させていただきたいと思います。はい。すいません規制庁西坂です。
00:30:31	あと、熱に起因する劣化として、ひび割れを代表的なものにされておるんですけど、
00:30:37	ちょっと一般的なイメージとして、ゴムというのは、
00:30:40	何かそのレッカーに対してひび割れがメインの事象なのかどうかというところも、
00:30:47	含めてちょっともう一度、
00:30:49	いわゆる総高熱によって何が劣化、
00:30:53	として、具体的な事象として表れるか市長ちょっともう一度、ちょっと検討いただけるとは思います、いかがでしょうか。
00:31:00	そうですね。先ほどちょっと、
00:31:06	先ほどちょっと、
00:31:08	根井さんからですね、ご指摘いただきましたけれども、
00:31:12	そういうのも含めて、外観観察なりをしているわけですので、ちょっとそんなことで、ちょっと考えたいと思います。
00:31:23	実質的にそういうことで管理しているものでもございますので、はい。ちょっとこの説明の仕方っていう説明の仕方というか、管理の仕方含めてですね。
00:31:34	少し見直さしていただきたいと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

00:31:39	わかりました。よろしくお願いいたします。はい。はい。ありがとうございます。いいですかね。ちょっとすいません。規制庁の方ですけども、
00:31:48	前回ね、申し上げて、
00:31:53	聾、
00:31:55	た話なんですけれども、今回も加速度と変形量というところでね、もうスクリーニングかけてるわけなんですけれども、
00:32:04	実際、ある試験結果に基づいて、イエイ
00:32:14	床に発生する応力食う
00:32:17	みっを指名して、大丈夫ですよって話してるんですけども。
00:32:24	唯一のところほとんど余裕率がないということね。これまでこれですつと
00:32:30	通して、
00:32:32	きてるし、皆、それぞれその時代時代で
00:32:37	いろいろこう説明されてね、こちら側としても、納得してきているというふうな認識でおるんですけども、
00:32:48	要はね、実際そこでやられてる評価自身がね、
00:32:55	これまでもいろいろか、保守側だっていう説明はされてきているという認識があるんですが、実際問題として
00:33:06	ある試験でできたひずみから、応力、
00:33:11	焼き直してやってるところに、相当な保守性があるということがね、わかるようにね、
00:33:18	何かその、要は構造解析の附属なりなんなりね、説明を入れておいていただければと思います。
00:33:30	高崎
00:33:32	だって言う率がないと1%でもきくじゃんという話になってくる。
00:33:36	いやいやこれはこういう考え方でやってて、
00:33:39	実際は、実際は
00:33:42	実際そのひずみに相当する時に発生する
00:33:47	応力、
00:33:49	戻したこの
00:33:51	保守側にこういう評価をやりましたというような旨がね、わかるものを、1枚ぐらいで結構なんで

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。

00:34:01	出しておいていただければと思います。
00:34:04	前野前田を見るたびにですね、これはどうなんだどうなんだというふうな議論を生まないような形で
00:34:11	ちょっと処理、
00:34:13	その説明
00:34:14	を追加していただければと思いますけどいかがでしょうか。
00:34:20	わかりました。
00:34:22	そうですね。あと、ここ落下に関して言うと実際に落下をしたか試験を して、
00:34:32	おそらくこれ、塑性変形まで入っていて、塑性ひずみまで入っているん ですごく過大な評価っていうんですかね。そうそうがね。
00:34:41	すごく過大な評価になっているというふうに考えておりますのでちょっ とその辺、過去の御所、つつ、提出させていただいている資料と確認し てですね。
00:34:53	ちょっとそのエッセンスを盛り込むような形で、
00:34:57	検討したいと思います。発言松岡でございます。よろしく願いいたし ます。
00:35:04	はい。お願いします。
00:35:12	あとはよろしいでしょうかね。
00:35:18	それではですね、これで三菱遠心燃料株式会社との面談を終わります。
00:35:29	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。
- ※3 一部に不開示情報が含まれていたため、該当部分に黒塗り処理を行っています。